

とよた 市議会だより

TOYOTA CITY COUNCIL No.174



第2民芸館外観



第1民芸館外観



第1民芸館内観



旧井上家住宅西洋館

表紙の写真と関係議案 (議案第67号 関係)

平戸橋町にある豊田市民芸館は、名誉市民・本多静雄氏の尽力により、東京にあった日本民藝館の改築に伴い一部を本多氏が譲り受け、その後市へ寄贈されたものです。現在、県内唯一の公立民芸館として特別展や企画展、手仕事によるものづくり講座の開催を通じて、民芸に関する調査、研究、普及活動に努めています。

6月市議会 定例会号

令和5年8月1日

目次

■ トップインフォメーション 市議会の役割	2
■ 議案審議結果	4
■ 討論	5
■ 常任委員会 付託案件を審査	6
■ 一般質問 市政を問う! 18人の議員が質問	8
■ トピックス 全国市議会議長会表彰 市議会の傍聴	12

市議会 の 役割

市議会の役割

誰もが住み続けたいと思うような住みやすいまちにしていくためには、市民全員が集まって話し合うことが最も理想的です。しかし、実際に市民全員が集まって話し合うことは、現実的ではありません。そこで、市民の皆さんが選挙によって自分たちの代表となる人を選び、その代表者が今後のまちづくりや社会福祉などについて話し合いを行います。この選挙によって選ばれた代表者を市議会議員、話し合いの場を市議会といいます。

市議会議員は、市の取組をチェックしたり、市民の皆さんの声を市に伝えたりすることで、住みやすいまちになるよう活動しています。



議会ではどのように話し合いをしているの？

市議会では、議会に提出された市の条例や予算※・決算※などの議案※の内容をチェックします。

本会議の限られた時間の中で、議案を詳細に話し合う（審査する）ことは大変難しいことです。そこで、委員会という担当を分担し詳しく話し合いをする会議を作り、その中で、議案をさらに詳しく審査しています。現在、本市では6つの常任委員会（企画総務、地域生活、教育社会、環境福祉、産業建設、予算決算）を設置しており、議案の内容によって、各委員会へ付託※しています。

その後、委員会での審査を経て、本会議で最終的に個々の議案について賛成か反対かを明らかにしています。

- ※予算…市のお金（税金等）をどのように使うか計画を立てたもの
- ※決算…最終的にお金（税金等）をいくら使ったか整理したもの
- ※議案…市議会に提案され話し合われる案件
- ※付託…議案の詳しい話し合いや研究を委員会にゆだねること

市議会の流れ

議案



1 市長や議員が、市が行う仕事お金の使い方(予算)決まりごとなどについて提案をします。

本会議



2 本会議とは、全議員で構成し、市が行う仕事などについて、最終的に決める会議です。

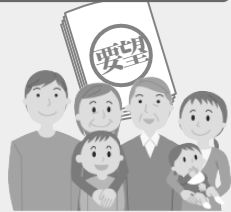
3 市長が決めた市の計画や仕事を本で行うか、それとも行わないかは、多数決によって決まります。

議決



4 本会議で賛成が過半数を占めた議案は可決され、市長に届けられ、実行に移されます。

請願・陳情



1 市民の皆さんが、直接市議会に提案する要望です。

委員会



2 市が行う仕事は多いため、仕事の種類によって担当の議員を決めて、専門的に調べたり意見を出し合っ、賛成か反対かを決めて、本会議に報告します。

意見書



4 市だけでは解決できないことは、国や県などへ意見書として提出して、議論してもらいます。

議員提出意見書 令和5年6月定例会で可決しました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

歴史的なコロナ禍やロシアのウクライナ侵攻による物価高騰への対応など、新たな行政需要に対し全国の地方自治体は様々な対応が求められている。また、現在、我が国が直面している少子・高齢化の進展により社会保障への対応など、従来からの行政需要も高まりを見せている。加えて、大規模自然災害やインフラ施設の老朽化を踏まえた、国土強靭化やデジタル・ガバメント、さらには、持続的な経済成長への対応も急務である。このような社会の動向を受け、人材不足の深刻化、市税の減少など、地方財政の財源は、2024年度以降、十分に確保できるのか大きな不安が残されている。

このような経済への影響を鑑み、2024年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、下記の事項について特段の措置を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 感染症対策、防災・減災対策、環境対策、地域交通対策、人口減少対策など、増大する地方自治体の財政需要を的確に把握し、持続的な経済成長を促すよう、地方の財源の充実を図ること。
- 2 社会保障の維持・確保について、子育て対策、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、急増する社会保障ニーズに対し、人材確保を含めた十分な財政措置を講じること。
- 3 コロナ禍により深刻な打撃を受けた地域経済の活性化に必要な財源措置を図ること。
- 4 激甚化、頻発化する自然災害に屈しない、強靭な国土づくりに向け、「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」の強力な推進に必要な財源を例年以上の規模で確保するとともに、災害発生時における迅速かつ円滑な復旧を支援するTEC-FORCE等の災害対応力の強化のため、体制・機能の拡充、強化を図ること。
- 5 地方公共団体の基幹業務システムの統一・

標準化の取組については、円滑なシステム移行を実現するため、各自自治体の実情に寄り添った柔軟な対応及び必要な財源措置を図ること。また、地域経済の活性化に向け、企業のデジタル化の支援やデジタル人材の育成につながる必要な財源措置を図ること。

- 6 カーボンニュートラルに向けた地方自治体の取組を支援し、目標の達成と産業振興につながる財政措置を図ること。
- 7 森林環境譲与税の譲与基準については、地方自治体と協議を行い、林業需要の高い自治体への譲与額の増額等の見直しを行うこと。
- 8 エネルギー価格や食料品価格等の物価上昇による財政需要の増大に対して地方自治体の健全な財政運営のために必要な財政措置を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和5年6月29日
豊田市議会

※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く																		
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 9名		公明党 4名		新しい風 3名		諸派 1名										
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対									
◆議案																					
第66号	博物館条例	原案可決	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1									
67	民芸館施設条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
68	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1									
69	市税条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1									
70	都市計画税条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1									
71	市内に住所を有しない者等の施設利用に係る料金の引上げのための関係条例の整備に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
72	美術館条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
73	文化財施設条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
74	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1									
75	老人福祉センター条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
76	こども発達センター条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1									
77	市指定通所支援の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
78	商業振興条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
79	豊田産業文化センター条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1									
80	火災予防条例の一部改正条例	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
81	令和5年度一般会計補正予算	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
82	工事請負契約の締結(総合体育館長寿命化改修電気設備工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
83	// (総合体育館長寿命化改修機械設備工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
84	// (自然観察の森ネイチャーセンター施設修繕工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
85	// (豊田市駅西口ペDESTリアンデッキDブロック改築工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
86	// (花園土地区画整理事業道路築造工事(その1))	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
87	// (都市計画道路高橋細谷線宮橋橋りょう整備工事(その8))	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
88	// (中山小学校屋内運動場増築工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
89	工事請負契約の変更(旧平岩家住宅及び東土蔵移築工事)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
90	// (都市計画道路高橋細谷線道路改良工事(長興寺第1工区その4))	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
91	財産の取得(情報漏えい対策ソフトウェアライセンス)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1									
92	// (人工造雪設備)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
93	// (小型動力ポンプ付き積載車)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
94	// (屈折はしご付き消防自動車)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
95	// (高規格救急自動車)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
96	財産の処分(市宮宮上住宅跡地(宮上町地内))	//	27	0	9	0	4	0	3	0	0	1									
97	// (一級河川矢作川鶴の首地区改修工事用地(秋葉町地内))	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
◆諮問																					
第1号	審査請求に係る諮問	棄却すること 当である旨、各申	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
◆同意																					
第5号	監査委員の選任(新任:向山和秀氏)	同意	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
6	農業委員会委員の選任(再任:伊藤善代司氏はじめ13名、新任:石川文志氏はじめ6名)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
7	人権擁護委員の推薦(再任:山田正秋氏、新任:赤川鈴治氏はじめ2名)	//	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									
◆報告																					
第5号	専決処分の報告(工事請負契約の変更1件、一般会計補正予算1件)																				
6	継続費等の報告																				
◆議員提出意見書																					
第1号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案)	原案可決	27	0	9	0	4	0	3	0	1	0									

※議案名など一部省略して記載しています

6月市議会定例会に提出された案件		採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く									
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 9名		公明党 4名		新しい風 3名		諸派 1名	
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
◆陳情 (※陳情は委員会での報告のみで、本会議での採決は行いません。)												
第2号	上郷町高畑の農地の宅地化転用を容易にもらえることを求める陳情書											
3	最低賃金の大幅引上げと全国一律化、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情											
4	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情											
5	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情											
6	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情											
7	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情											
8	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置をあたりまえにすることを求める意見書の提出を求める陳情											
9	11年単位の变形労働時間制導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情											
10	全国霊感商法対策弁護士連絡会の不当な声明に対する陳情											

討論

6月市議会定例会の最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等の議員が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。 ※発言順に記載

根本美春

諸派

現在の社会状況において、総額88億円もの費用を費やす博物館を設置することに、反対

議案第66号：反対。人口減少、物価高騰への対策が求められる現在においては、市民生活と営業を守るための事業を優先すべきと考える。あわせて、学芸員の配置を含め、専門性を生かした歴史・文化の継承事業の充実を意見する。コロナ禍で進められた博物館準備の当時の指摘のように、総額88億円もの費用を費やす大規模建設を、災害に匹敵するような社会状況においても変わりなく続け、設置することに、反対。

窪谷文克

自民クラブ

博物館条例は、市への愛着醸成や地域の活性化につながることから、賛成

議案第66号：賛成。博物館条例は、多様な自然環境と歴史、文化及びものづくり産業の歩みを物語る資料と記憶を、市民、地域、企業とともに未来へつなげ、市への愛着の醸成及び地域の活性化に寄与することから、賛成。条例制定により、博物館の設置目的や事業内容、施設利用に伴う諸事項を定め、円滑な管理運営を実現でき、自然環境と歴史や文化、産業等の歩みを未来へつなげ、市への愛着醸成や地域の活性化につながるような施設運営を要望する。

鈴木孝英

市民フォーラム

個人番号は利用者の利便性向上や、市や医療機関にとっても事務の省略化などの効果があり、賛成

議案第68号：賛成。個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について、利用者の利便性向上につながることや、市や医療機関にとっても事務の省略化が図られるなどの効果を確認した。個人番号の活用については、懸念の声もあるが、市民にとって利用価値の高いものを全て否定することは合理的ではないと考える。今回、セキュリティに対する本市の対策を確認でき、また公金受取口座は利用者の任意によって活用されることも踏まえ、賛成。

榎屋小百合

公明党

若年がん患者在宅療養支援補助金は、若年がん患者への一助となることが期待されることから、賛成

議案第81号：賛成。これまで介護サービスを受けても保険対象外であった方に対して経済的支援を行うことで、在宅で終末期を迎える若年がん患者が、住み慣れた自宅で最期まで日常生活を送る一助となる。AYA世代については、中学生から社会人、子育て世代とライフステージが大きく変化する年代であることから患者や家族が抱える課題は多様である。今回の補助金創設を第一歩として、就労や学業などのニーズに合わせたさらなる支援に努めていただくことを期待し、賛成。

岡田耕一

新しい風

豊田市駅西口ペDESTリアンデッキの工事契約は、地権者などからの意見や対応策が、適切に対応されることに期待し、賛成

議案第85号：賛成。産業建設委員会の審査では、工事区域周辺の地権者等に対し、引き続き説明や工事情報を周知するとのことだった。安全面や店舗等の営業活動に配慮し、安全・安心な施工を進めていくとの答弁もあった。また、豊田市駅周辺整備のバリアフリー化は、市障がい者計画推進懇話会での意見交換や関係団体からのヒアリングを踏まえ、設計に活かされている。地権者や各テナントからの意見、具体的な対応策について、適切に対応されることを期待し、賛成。

常任委員会

常任委員会とは 地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会のこと。本市では、以下の6委員会が常任委員会となります。

産業建設 委員会

6月20日、付託された8議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第85号】工事請負契約の締結(豊田市駅西口ペDESTリアンデッキDブロック改築工事)

質問 豊田市駅西口ペDESTリアンデッキDブロック改築工事におけるバリアフリー対策はどのようなか。

答弁 具体的なバリアフリー対策として、エレベーターについては出入口の幅やかごの寸法を拡大する。エスカレーターについては、昇降口のステップである水平部分を長くするなど、現行のバリアフリー基準に即した昇降施設の更新を行い、利用者の安全安心を確保する。

【第97号】財産の処分(一級河川矢作川鵜の首地区改修工事用地(秋葉町地内))

質問 鵜の首地区の河川改修事業において、国の取得予定の土地が全体でどれくらいあるのか、また用地取得の予定は今後どのようなか。

答弁 河川改修事業として、国が取得する予定の土地は、今回処分する用地を含めて、全体で約5万5千㎡である。また、用地取得の予定は、国からは令和5年度夏ごろから用地交渉に着手し、令和6年度中の取得完了を目指すとしている。

環境福祉 委員会

6月21日、付託された4議案を審査し、議案第75号、議案第77号及び議案第84号については全会一致、議案第76号については賛成多数にて全ての案件を承認しました。他に陳情1件を報告しました。

【第75号】老人福祉センター条例の一部改正条例

質問 豊寿園デイサービスセンターの利用者が減少しているが、現在の利用者37名に対し、廃止後の影響はどのように考えているか。

答弁 現在の利用者が令和6年4月以降、豊寿園のデイサービスを受けられなくなるため、他のデイサービスセンターでの利用を調整する必要がある。対応としては、令和6年3月までの間に、ケアプランを作成するケアマネジャーや、現在、指定管理者として施設を運営する社会福祉協議会が主体となり、利用者の希望を聞きながら、サービスの調整を行う。市としても、利用者の希望に配慮した形で、適切に調整されることを確認していく。

【第84号】工事請負契約の締結(自然観察の森ネイチャーセンター施設修繕工事)

質問 工事期間中の利用に支障はないか、また、安全対策は十分か。

答弁 工事期間中の施設利用については、施設利用者用の出入口を確保し、建物内の利用制限を行わないなど、支障が出ないよう、進めていく。

また安全対策については、工事現場事務所や資材置場などの工事ヤードをパネルフェンスで囲うほか、外部足場への進入防止措置を行うなど、工事範囲を明確に区分けし、施設利用者が立ち入らないよう、十分対策をしていく。

教育社会 委員会

6月22日、付託された9議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。他に陳情2件を報告しました。

【第66号】博物館条例

質問 博物館と学校が連携して、子どもたちに深い学びを実現させるにあたり、具体的な学校との連携はどのようなか。

答弁 学校との連携については、これまで3年をかけて、小学校、中学校、高等学校の先生方とともに博物館学習プログラムを作成し、進めてきた。

博物館準備課でも、学校の状況を熟知した教員や教員OBを配置し、学芸員とともに学校利用の対応をしていくことで、児童生徒の主体的な学びを進める連携体制を構築している。

【第67号】民芸館施設条例

質問 企画展示や公募展における美術館や博物館との相乗的な取組はどのようなか。

答弁 博物館や美術館との間で相互の誘客を進める上で、それぞれの施設の企画展示に関わる作品について、相互に出張展示するなど、連携を深めていく。



豊田市美術館

地域生活

委員会

6月23日、付託された5議案を審査し、議案の全てを全会一致にて議案の全てを承認しました。

【第80号】 火災予防条例の一部改正条例

質問 急速充電設備の全出力の上限200キロワット規制が撤廃された経緯はどのようなか。

答弁 近年、電気自動車等の開発が進められている中、急速充電設備の高出力化へのニーズが高まっていることを受け、総務省消防庁が全出力200キロワットを超える設備の火災危険性について検討し、新たな危険性は認められなかったことから、省令の改正が行われた。その内容に合わせ、条例を改正し、急速充電設備の上限を撤廃するものである。

【第92号】 財産の取得(人工造雪設備)

質問 設備更新による利用者への影響について、どのようなことが想定されるか。

答弁 人工造雪設備を更新することにより、雪そりゲレンデの安定した運営と、サービスの提供が可能になると考えている。
また、設備の更新にあたり、完成までに1年程度の製作期間が必要なことから、現地での設置を令和5年度の雪そりゲレンデ終了後の夏ごろに実施し、利用者には迷惑がかからないようにしていく。

企画総務

委員会

6月26日、付託された6議案を審査し、議案第68号から議案第71号まで及び議案第91号については全会一致にて承認し、また諮問第1号については、棄却するのが相当である旨を答申すべきものと決定しました。他に陳情4件を報告しました。

【第68号】 個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正条例

質問 特別障害者等に係る加算手当の支給における公金受取口座情報の利用に関する事務で、ミスが発生する可能性及び本市の対策はどのようなか。

答弁 公金受取口座を使用したい、との申請があった場合については、口座情報を利用する際に、口座名義が本人のものか、複数の職員で確認する。本市においては、原則として、申請者の住民票氏名を口座名義として振込処理を行うため、万が一、他人の口座が誤って登録されていた場合においても、金融機関で口座名義と口座番号等が不一致となり、振込エラーとなることから、他人の口座に手当が振り込まれることは極めて考えにくい状況である。

【第69号】 市税条例の一部改正条例

質問 浸水防止用設備について、対象となる施設・設備はいくつあるのか。また、従前に比べ、課税標準額の減額割合を変更する理由はどのようなか。

答弁 対象施設は、地域防災計画に位置づけされることなどが必要で、ギャザビルや新豊田駅地下駐車場など、7施設ある。そのうち、特例の対象となる設備を有する施設は、市役所東庁舎の1施設で、地下駐車場入口に設置されている防水扉が対象となる。

また、条例で定める割合を3分の2から下限の2分の1に変更した理由は、令和3年3月作成の想定最大規模降雨によるハザードマップや、令和5年3月実施の水害被害予測調査の結果から、さらなる水害被害対策の必要性があると判断し、積極的に浸水被害対策を進めるためである。

予算決算

委員会

6月16日から28日まで、付託された補正予算の議案1件を審査し、全ての案件を全会一致にて承認しました。

【第81号】 令和5年度一般会計補正予算

≪歳出3款4項1目 保育所等給食費軽減対策補助金、3款4項4目、10款5項1目 こども園給食運営費 10款6項7目 給食センター費≫

質問 食材費が高騰する中でも、栄養と食の安全を確保する必要があるが、献立への影響はどのようなか。また、経費節減に向けた効率化等への取組はどのようなか。

答弁 子どもたちに必要な栄養や食の安全など、給食の質に影響がないよう、工夫をしている。

また、経費削減のために、価格が高騰している食用油などの使用量を減らすことや、移送コストの少ない地元産食材の使用割合を増やすなどの工夫をしている。

≪歳出4款3項4目 渡刈クリーンセンター費≫

質問 火災予防対策として、今回、追加・改良する設備を選定した理由はどのようなか。

答弁 日々、大量に搬入される可燃ごみの中から、火災の原因となり得る危険物を完全に除去することは困難であり、このような危険物が混入しても、被害を防止できる方式の検討を行い、他施設での事例などを参考にして、今回の方式、設備等を選定した。

市政を問う

6月12日から14日にかけて、18人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

杉本 寛文

自民クラブ



- アフターコロナの時代に向けて
- 安心して子育てができるまちづくり

質問 子育て世帯への医療費負担の軽減

少子化対策の観点から、子育て世帯の経済的負担軽減を進めるべき。子ども医療費助成制度拡充の考えを市長に問う。

答 弁 市 長

本市は、中学生までの医療費無償化だけでなく、令和2年度から他市町村に先駆けて大学生等の入院にまで助成対象を拡大し、若い世代の支援に取り組んできた。一方で、中学卒業とともに通院にかかる負担が増え、一部で受診控えが生じている可能性や、その後の生育に影響する可能性について懸念する声を市内の医療機関から聞いている。本市において、高校生世代の通院に対する助成を来年4月から始めることを目標に詳細を詰める。

福岡 靖純

自民クラブ



- 人口減少下での経済成長

質問 持続的な経済成長を実現するまちづくり

人口減少が進む中、都市の維持・発展を図るため、本市の都市構造に対する考え方を問う。

答 弁 企画政策部

都市構造の考え方として、効率的な都市経営を図るため、都市機能や生活機能を集約する拠点を核に、公共交通や道路をネットワークとして、多核ネットワーク型都市構造へ誘導することとしている。将来を見据えると、コンパクト・プラス・ネットワークの考え方を基本に、さらなる選択と

集中により、都市の活力と魅力の確保を目指すことを想定しているが、具体的には第9次豊田市総合計画を策定する中で検討を進めていく。

武田 一夫

市民フォーラム



- 物流産業の取組

質問 物流産業のDX推進の取組

他市に先駆けた官民連携によるスマート物流拠点整備を提案するが、今後の本市の物流産業活性化の考えについて問う。

答 弁 産 業 部

市内8か所のインターチェンジや幹線道路網などの交通インフラは、本市の基幹産業である自動車製造業のサプライチェーンの円滑化にも重要な役割を果たしていると考えられる。これらの交通インフラと合わせ、自動運転や電動化などの次世代技術の普及で、物流産業はさらに効率化される可能性が高いため、引き続きその動向に注視するとともに、物流産業における職場環境の向上や人材育成、人材確保などの支援に取り組んでいく。



豊田東IC周辺エリア

杉浦 健史

自民クラブ



- 枝下用水耐震工事の進捗と枝下緑道の活用
- 中心市街地周辺の交通環境の向上

質問 駅周辺における交通結節機能の強化

交通実証実験やパブリックコメン

トでどのような意見があり、意見を基にどのような方向性で取り組むのかを問う。

答 弁 都市整備部

バス利用者アンケートでは、東口のバス停利用者の約7割が西口集約後も東口バス停を利用する意向があり、バス所要時間の増加や乗継性に関する改善等の意見が寄せられた。また、第4期中心市街地活性化基本計画策定時のパブリックコメントでは公共交通機関の利便性を高めて欲しいという要望があり、これらの利用者ニーズや実証実験におけるバス停の利用状況を踏まえ、東口駅前広場周辺にバス停を設置する方針とし、関係機関と協議を進めている。



市内中心市街地のドローン画像

中島 竜二

新しい風



- 学校教育の充実に向けた本市の取組

質問 インクルーシブ教育推進の取組

特別な支援を必要とする子どもが増加する中、インクルーシブ教育推進に向けた取組について、本市の考えを問う。

答 弁 教 育 部

インクルーシブ教育を推進する上で、児童生徒一人一人が必要とする指導や支援を受けられるよう、通常の学級や特別支援学級、特別支援学校など、学びの場を選択できることが重要であると考えます。市では、本人

※質問順に掲載しています。 ※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 新しい風：新しい風とよた 諸派：会派所属無

や保護者の意向を尊重して、就学先を決定していく。それぞれの学びの場の指導や支援を充実させるために、今後も教員への研修や学級運営補助指導員等の配置、合理的配慮の充実に努めていく。

吉野 英国

市民フォーラム



- 桜の樹木を保護する取組
- 安心して子を産み育てやすいまちづくり

質問 適切な管理と魅力向上に向けた取組

市内の桜の保護及び魅力向上に向け、組織体制の確立や計画の策定、財源の確保が必要となるが、市長の考えを問う。

答 弁 市 長

桜の名所である水源公園や平戸橋公園では、桜が植えられてから50年以上が経過しており、特に老朽化が進んでいると感じている。桜を保護する活動が、地域の愛護会や企業によって行われているが、市としても、市民の意見を伺いながら、市一丸となって取り組んでいく。また、足助香嵐渓や小原四季桜も含めて幅広く検討していきたいと思う。市民、議会の理解を得ながら、新たな基金創設の可能性を探るなど、財源確保に努めていく。



水源公園の桜

小島 政直

公明党



- 幸福寿命を全うできるまちの実現

質問 権利擁護支援と地域生活意思決定支援事業

豊田市地域生活意思決定支援事業の試行の現状と今後の課題を問う。

答 弁 福 祉 部

昨年12月から試行を開始しており、1つ目は身寄りがなく特別養護老人ホームに入所中の軽度認知症の高齢者で、意思決定フォロワーが本人に寄り添い希望を施設に伝えることで、本人の希望が叶うことができた。2つ目は、身寄りがない知的障がい者に対し、フォロワーが寄り添い本人が納得した治療を受けることができ、安心して暮らせるようになった。今後の課題は、モデルケースの種類を増やし、どういった状態の方に事業が有効か見極めること、また、ケースが増えても継続して支えられる仕組みを検討していく。

松原 一也

自民クラブ



- 本市の災害時の対応

質問 山村条例とまちづくり

地域会議からの答申で得た意見を踏まえて、どう取り組むのか問う。

答 弁 企 画 政 策 部

都市部からの答申内容を踏まえた取組として、令和4年度に実施した現地見学会を参考に、令和5年度は、都市部に居住する市民や団体を対象とした山村交流ツアーを、足助支所と連携して実施する予定である。都市部と山村部の地域同士で実現可能な交流事業については、地域間の自発的な取組として進められるよ

う支援していく。山村部からの答申内容を踏まえた取組としては、地域が主体的に取り組むことができるよう、関係機関と連携して伴走支援をしていく。



市内山村地域の風景

酒井 斉

自民クラブ



- 災害に強いまちづくり
- 子どもを安心して産み育てられる環境づくり

質問 液状化に対するライフラインの強化

液状化の影響については、特にライフラインへの被害が緊急対応や災害後の復旧の大きな妨げになると想定されるが、上下水道施設の液状化対策及びその進捗状況について問う。

答 弁 上 下 水 道 局

本市の耐震対策事業は、国等の基準を参考に選定した管路・施設を対象に、耐震対策を検討する中で、液状化対策が必要な箇所には、その対策を講じた耐震化を進めている。令和4年度末時点における進捗状況は、水道の耐震化率は管路が約58%で施設は約62%。下水道の耐震化率は管路が約51%で施設は80%である。

市政を問う

議員氏名
会派名



QRコードから、各議員の一般質問の動画を見ることができます。

中尾俊和

市民フォーラム



●住宅確保要配慮者に対する取組

質問 民間賃貸住宅への入居支援の取組

課題を踏まえ、持続可能な住宅セーフティーネットの構築に向けて、今後どのように取り組むのか問う。

答弁

都市整備部

将来の住宅確保要配慮者の増加へ対応するためには、引き続き、公民連携により取り組んでいくことが重要だと認識している。具体的には、賃貸住宅の既存ストックについて、公営住宅は家族向けの広い間取りの住宅が多い一方、民間賃貸住宅は少人数の世帯向けの小さい間取りの住宅が多いことから、双方の特徴に応じた対応を行う。セーフティーネット専用住宅についても、不動産関連団体を通じて、家主のニーズ把握を行うなど調査を行っていく。

鈴木孝英

市民フォーラム



●持続可能な産業振興に向けて

質問 産業誘致に向けた取組

企業の意向調査結果に対し、産業用地の面積はまだ不足している状況である。産業用地適地候補地に向けた取組について、現在の状況及び今後の計画を問う。

答弁

産業部

産業用地のさらなる確保に向け、令和4年度には、土地利用構想に位置付けられた産業誘導拠点や幹線道路の沿道等で、産業用地適地のポテンシャルを調査した。

令和5年度は、その中から20ha程度の候補地を2から3か所抽出し、法

規制の調査、整備手法の整理、概算事業費の算定など事業可能性の検討を進めていく。



花本工業団地

西田ひさよ

新しい風



●安心して子育てできる支援

質問 産後ケア事業

産後ケア事業の対象要件は、年々使いやすい形になっていると感じるが、利用対象者の要件の移り変わりを問う。

答弁

こども・若者部

主な要件の変更については、令和元年度に、多胎児への配慮から対象児の年齢を出産後3か月未満から出産後6か月未満へ、令和2年度には、出産後6か月未満から1年未満へ変更した。今後は国のガイドラインが形成され、利用要件が「家族等から十分な援助を受けられない方」から「産後ケアを必要とする方」へ変更し、より多くの方が利用しやすい制度になると考えている。

奥村峰生

自民クラブ



○交通事故のない社会の実現
●犯罪のないまちづくりの推進

質問 地域防犯力の向上

犯人やその逃走経路を早急に特定できる防犯カメラの広域的な整備

が必要だが、その現状と必要性を問う。

答弁

地域振興部

令和4年度末時点で、公共の場に設置された防犯カメラの総数は、市と自治区等が設置したものをあわせ2,965台となる。防犯カメラは地域での犯罪抑止や警察の現場捜査など、地域の防犯対策の強化につながると評価している。課題としては、市域全体において犯罪を抑止するという視点で、必ずしも十分とは言えないため、今後は、これまで防犯カメラが設置されていない市境やインターチェンジ、駅周辺の主要交差点などへの設置を検討する。



広域防犯カメラ・イメージ

鈴木昌秋

自民クラブ



●未来の子どもたちがすくすく育つ為の支援
○市街化区域以外での公園づくり

質問 更なるこども園の運営向上に向けて

共働き世帯の増加等により、長時間預かってほしい保護者ニーズが今後高まると予想されるが、これらへの対応状況について問う。

答弁

こども・若者部

現在、市内の約8割のこども園で午後6時以降の延長保育を実施しており、転入世帯による人口変動はあるものの、現状ではニーズに対応できているものと考えている。今後は、住宅開発に伴う転入世帯増加への

○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答弁 回答した部署名
質問に対する市の担当部署の回答

対応や、パート保育士確保の課題への対応も含め、現在策定作業を進めている(仮)第4次豊田市こども・若者総合計画の中で、改めてニーズの把握や対応方法等を整理していきたいと考えている。

石川 要一

自民クラブ



- 将来にわたる安定的な財政基盤の確立のために
- 鉄道駅における交通結節点の整備

質問 鉄道駅における交通結節点整備の現状と考え方

今後の交通結節点整備の方針について、現在、市内で整備中の駅前広場の実施内容と今後の整備計画を問う。

答弁

都市整備部

駅前広場は、市街地整備事業に併せて整備されることが多く、現在、事業中の土地区画整理事業では、名鉄三河線の土橋駅と三河八橋駅において駅前広場の整備を行っている。両駅とも、乗継経路のバリアフリー化のほか、上屋やベンチを含めたタクシー乗り場や身障者用駐車スペースを整備している。なお、現時点においては、今後の具体的な整備計画はない。



三河八橋駅周辺エリア

根本 美春

諸派



- 学校給食費を無料に
- 子どもに寄り添う教育と少人数学級拡大
- 学校・家庭における相談支援体制の充実を

質問 学校給食費の無料化の状況と考え

義務教育の無償を定めた憲法に基づき、また昨今の物価高騰や子育て世帯への経済的負担の軽減のため、給食費の無償化が全国に広がっている。就学援助を利用し、給食費が無料となっている児童生徒もいるが実際には全体の10%程度である。給食を通じた豊かな教育を保障するために、本市における給食費無料化への考えを問う。

答弁

教育部

給食費の無償化については、現在、国による検討が始まったため、国の示す調査結果などの動向を注視していく。

近藤 厚司

自民クラブ



- つながる社会の確立に向けて
- 豊田市の未来を支えるDXの確立

質問 DXを確立するための推進体制

デジタル推進本部会議が必要に応じて機動的に予算を運用できるようにすべきと考えるが、本市の考えを問う。

答弁

総務部

令和5年度から次年度の予算を早期から検討できるスケジュール・体制へ変更していく。早い段階から次年度予算の検討を進めることで、デジタル技術の活用に関する民間企業との意見交換などの時間も確保できる。また、デジタル田園都市国家構想交付金の活用に向け、早期から

検討することで、国の交付金を活用することも可能となる。以上の情報をCDOへ集約しながら、DX関連の予算についてもデジタル化推進本部会議で議論していく考えである。

田代 研

公明党



- 妥当性のある選挙制度

質問 ポスター掲示場設置の均等性

選挙ポスター掲示場の削減、均等性の確保、または投票区を減らす等の再検討が必要と考えるが、本市の考えを問う。

答弁

選挙管理委員会事務局

国会議員、県知事及び県議会議員の選挙については、県選挙管理委員会との協議が必要であり、特別の事情がないと、ポスター掲示場の総数の減少は難しい。一方で、市議会議員及び市長の選挙については、市の選挙管理委員会において、ポスター掲示場の総数を減らすことができ、今後の市の選挙については、総数の減少も含めて、設置場所の整理・見直しを行いたい。なお、大規模な投票区の廃止・統合は、現在のところ考えていない。



選挙ポスターを掲示する様子

全国市議会議長会表彰

令和5年6月14日に東京で開催された全国市議会議長会定期総会において、太田博康議員が20年勤続表彰を受けました。

6月市議会定例会の閉会日に、議長から表彰状が手渡されました。



飯野小学校の生徒が議会を傍聴しました



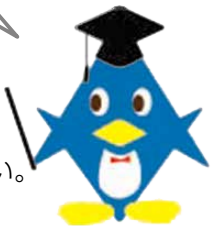
6月12日に飯野小学校の生徒が、社会見学の一環として6月定例会（一般質問1日目）を傍聴しました。生徒達は、真剣な表情でメモを取りながら質問を聞き入っていました。

豊田市議会では、議会の様子を実際に傍聴・見学していただけます。

また、本会議を開催していない日は、議場を見学することもできます（土・日・祝日を除く）。職員が案内しますので、見学をご希望の際は、事前に豊田市議会局までご連絡ください。

議場見学は個人、又は団体での受入れもしていますので、お気軽にご相談ください。

※議会の期間や日程は市議会ホームページなどをご参照ください。



市議会の予定 9月市議会定例会は、9月1日(金)開会予定です

■請願・陳情の提出期限／9月定例会で審査を希望される場合は、8月23日(水)午後5時までにご提出ください。

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp/>
豊田市議会 検索 「動画で見る代表・一般質問」をクリック!



「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>



一般質問の様子をスマートフォン等から閲覧できるようになりました。

※パケット通信が必要になりますので、携帯端末等での視聴はWi-Fi環境をおすすめいたします。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル／121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継
チャンネル／78.6MHz



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と植物油インキを採用しています。

ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】

豊田市議会局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

※この冊子は、折込み「6月市議会定例会号」です。